



パトロール活動等を実施する際には、活動される方々ご自身の安全に配慮して、ケガなどをしないように行わなければなりません。また、緊急事態等が発生した場合の対応等について、活動される方々が共通認識して実施することが大切です。

### 《各種の事故を防止するために》

- ◇ 昼夜を問わずに蛍光色等の目立つ服装で実施しましょう。
- ◇ いざというときにも動けるように、靴は運動靴等を使用しましょう。
- ◇ 信号に従って横断するなど、交通法規やマナーを遵守しましょう。
- ◇ 夜間に実施する際には、懐中電灯などの照明器具を携帯しましょう。
- ◇ 犯人がいるような犯罪現場に遭遇した場合などは、犯人と対峙するようなことはせず、速やかに110番通報しましょう。  
(犯人は「刃物等の凶器を所持している」、「攻撃してくる」可能性があります。)



### 《緊急事態の発生に備えて》

- ◇ トラブルや緊急事態が発生した場合に、援護や連絡(110番等)が出来るよう、単独は避け、複数で実施するようにしましょう。
- ◇ 110番通報や緊急時の連絡のために、携帯電話、警笛、防犯ブザーなどを携帯するようにしましょう。
- ◇ パトロール中は、責任者(リーダー)を指定して、その人の指揮のもとで、集団で行動するようにしましょう。集団から離れたり単独での行動はしないようにしましょう。
- ◇ 帽子やジャンパー、防犯ベスト、腕章等、出来るだけ統一したものを着用して実施しましょう。
- ◇ 複数に分かれて活動を実施する際は、あらかじめ連絡方法(連絡先)を決めておきましょう。



### 《犯罪現場に遭遇した場合には》

- ◇ 犯罪を目撃した場合には、速やかに110番通報して警察官が来るまで待ちましょう。
- ◇ 犯人を捕まえようとして不用意に対処すると反撃されることもあるので、犯罪の事象や相手にもよりますが、基本的に犯人を捕まえる行為は警察官に任せるようにしましょう。
- ◇ 犯人の確保や逃がさないための措置を講じる場合は、必ず複数で対応し、無理な行動はせずに、警察を待つようにしましょう。



- ◇ 犯人が逃走する場合もあり、犯人を捕まえるためには必要な情報(犯人の特徴等)をメモするなど、しっかりと確認するようにしておきましょう。
  - ・身長(〇メートル〇〇センチくらい)
  - ・体格(太っている・痩せている・ガッチリ)
  - ・服装(上・下~何を着ていた、履いていた、その色や型など)
  - ・履物(靴やサンダルの色や型など)
  - ・頭髪(長い短い、パーマ角刈り、坊主、色など)
  - ・特徴(顔にアザ・ホクロ・傷、装飾品、携行品など)
  - ・車やオートバイ等で逃走した場合は、色・型・ナンバー・人数・ヘルメットの色や逃走方向等





## 《火災現場に遭遇した場合》

火災を発見したときは、大きな声や警笛等でパトロールのメンバーや周囲の人に知らせましょう。

### ◇ 消防機関への通報（119番）

- ・ 通報先の消防職員の誘導に従い、火事であることを落ち着いて伝えます。
- ・ 火事の所在地（住所、目標となる建物等）
- ・ 燃えているもの（住宅、公園の立ち木、車両等）
- ・ 人の情報（けがをした人、逃げ遅れた人などの有無）



※ 通報後、消防機関から確認の連絡が入る場合があるので、携帯電話で119番通報をした場合は、通報後10分程度は携帯電話の電源を切らないようにしましょう。

◇ 火事現場及び周辺道路にいる方々への避難の呼びかけをしましょう。

### ◇ 初期消火活動

- ・ 必ず逃げ道を確保した上で、消火をしましょう。（消火に夢中になって、逃げ道を失わないように！）
- ・ 大きな声で周りの人に知らせた後、風上から姿勢を低くして消火器などによる消火を実行してください。
- ・ 消火器は、あくまでも初期消火用です。天井まで火が達したら、迷わず避難しましょう。



◇ 避難後、到着した消防隊に「火事の場所」「逃げ遅れ・けが人」等の情報を教えてください。



皆さんのパトロール活動は、地域の犯罪防止に大きな効果があります。

実施場所は、地元の警察署からの地域の犯罪情報等を参考にいただき、活動目的に沿った時間や場所（地域）を選定してください。多くの皆さんが参加しやすい日・時間帯・場所（地域）を選定し実施することも重要です。大切なことは、一人でも多くの地域の皆さんが参加し、継続的なパトロール活動を実施していただくことです。



防災危機管理室 危機管理・生活安全担当  
03（3578）2111 内線 2270～2272  
〔平成24年度 発行〕



## 安全確保・緊急対応等活動実施

### マニュアル

